

## ——ソフトウェアエージェントとその応用特集（和文論文誌 D）論文募集——

ソフトウェアエージェントとその応用特集編集委員会

情報処理の代行やその支援、自律的・協調的な問題解決、インターネット情報検索や統合など広範な分野においてソフトウェアエージェントに関する研究開発が活発に行われています。電子情報通信学会人工知能と知識処理研究専門委員会では、情報処理学会、日本ソフトウェア科学会、人工知能学会のエージェント関連研究会と共催で「合同エージェントワークショップ&シンポジウム（JAWS）」を開催し、エージェント研究に関する先進的な研究成果を発表する場を提供しています。これまでその前身となるシンポジウムも加え、12回にわたり連動した論文特集を企画編集してきました。これを踏まえ、一昨年に引き続き、情報・システムソサイエティ和文論文誌にて「ソフトウェアエージェントとその応用特集」（平成27年6月号）を企画致しました。合同エージェントワークショップ&シンポジウムで発表された研究内容を更に発展させた論文、あるいはそれに限らずエージェント技術に関連した論文を広く募集致しますので、奮って御投稿下さい。

### 1. 対象分野

以下のテーマに関する論文投稿を期待していますが、これに限らずソフトウェアエージェント技術に関する幅広い分野の論文を募集します。

ソフトウェアエージェントの応用に関わる概念・技術・事例

- ・情報の収集・統合・流通
- ・モバイル通信支援
- ・コミュニティウェア／ソーシャルウェア
- ・インターネット応用システム
- ・協調作業支援
- ・ネットワーク管理・運用
- ・Web ベースドトレーニング
- ・社会システム／コミュニケーションへの応用
- ・電子商取引
- ・ソフトウェア工学への応用

など

ソフトウェアエージェントとその応用を支える概念・理論・技術

- ・基礎理論
- ・エージェント間通信プロトコル
- ・エージェントアーキテクチャ
- ・エージェント記述言語
- ・エージェント協調技術
- ・エージェント処理系／フレームワーク

など

### 2. 論文の執筆と取扱い

- ・論文の執筆要領、査読基準は通常の投稿論文と同一です。

2014年4月1日受付分から、早期公開の対象となります。詳細につきましては、投稿のしおりを御参照下さい。

投稿のしおり：[http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html)

- ・査読後の再提出期間が短縮される場合があること、また採録論文数が多い場合には、一般論文として掲載する場合があります。あることを御了承下さい。

### 3. 投稿方法

[https://review.ieice.org/regist/regist\\_baseinfo\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿のPDF ファイル・編集用電子ファイルを登録し、Web 上で著作権譲渡手続きを進めて下さい。投稿手続きについて御不明な点がございましたら、学会事務局まで御連絡下さい。

#### 【学会事務局連絡先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

E-mail [wabun-d1@ieice.org](mailto:wabun-d1@ieice.org)

4. 論文投稿締切日 平成 26 年 8 月 22 日 (金) 厳守

※特集発行日：平成 27 年 6 月 1 日 (月)

※採録通知予定日：平成 27 年 2 月 9 日 (月)

※採録通知後 7 営業日以内に早期公開となりますので、特許申請が関係する場合は御注意下さい。

5. 問合せ先

峯 恒憲

九州大学大学院システム情報科学研究院

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

TEL [092] 802-3613, FAX [092] 802-3613, E-mail mine@ait.kyushu-u.ac.jp

6. 特集号編集委員会

委員長 峯 恒憲 (九大)

副委員長 松原繁夫 (京大)

幹 事 菅原俊治 (早大), 栗原 聡 (電通大)

委 員 松井藤五郎 (中部大), 林 久志 (東芝), 中島 悠 (東邦大), 篠田孝祐 (電通大), 服部宏充 (京大), 小川祐樹 (立正大), 稲葉通将 (広島市大), 野田五十樹 (産総研), 櫻井祐子 (九大), 高橋健一 (鳥取大), 大園忠親 (名工大), 沖本天太 (NII)